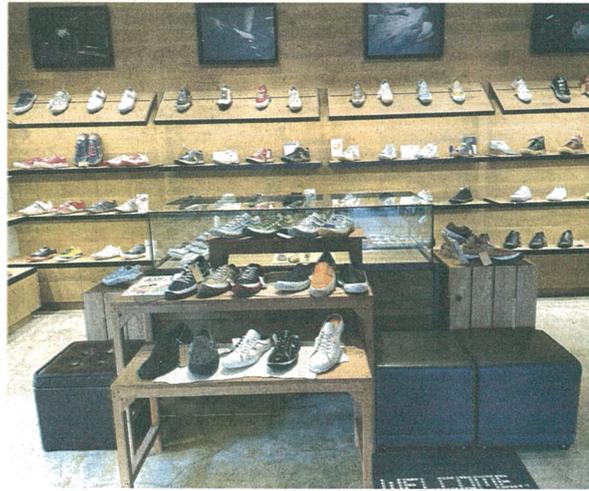


# 探訪 新ライフスタイル

8日に閉会した東京五輪では日本選手が過去最高のメダル数を獲得した。新種目として注目されたアーバン(都市型)スポーツでもスケートボード競技で「金」を含むメダルラッシュとなった。

アーバンスポーツはスケートボードのほか、BMX、スポーツクライミング、サ

## 五輪で注目 都市型スポーツ



ビジネスの場でもカジュアルなシューズを合わせる着こなしが増えている

# 足元彩るカジュアル旋風

# ライフスタイル

ーフィンなど高さや高さの個性的なファッションと音を極限まで追求して競い、楽が加わって若い世代の人合っ新ジャンルだ。自由に 気を集めている。

注目したいのはオリンピックを提唱した。当時のスポーツ競技を通じて多くの人がアーバンスポーツを受け入れたことだ。世界の都市空間ではアーバンスポーツに接する機会が増え、それによって新たなライフスタイルが育つだろう。

例えばこうしたスポーツで足元を彩るスニーカーが急に売れ始めている。最近の都市の空気を形成してきたカジュアルな要素が五輪を機に一段と強まりつつある勢いだ。

2017年10月にスポーツ庁は「FUN+WALK PROJECT(歩きやすい通勤プロジェクト)」

心地よさを優先しリュックとスニーカーでの通勤が定着してきた。少しカチッとした服でも、カジュアルなシューズや時計、シャツなどを合わせて「抜け感」

を演出する着こなしも当たり前になりつつある。こうしたカジュアル化に欠かせないシューズ類で、日本にも秀逸なメーカーがあることを存じだろ

か。広島県にあるニチマンでは、1933年より代々続いたゴム製品づくりを生かして職人がカジュアルシューズを手作業で作る。白スニーカーがカジュアルな着こなしの新しいアイテムとなったように、更に個人的でファッション的なスニーカーなどが広がる気配もある。都市のライフスタイルの変化を敏感にとらえているのは足元のファッションなのかもしれない。

このことからアーバンスポーツの広がりを見ると、デザイン性と機能性を併せ持つカジュアルなシューズ市場の可能性はさらに広が

りそうだ。白スニーカーがカジュアルな着こなしの新しいアイテムとなったように、更に個人的でファッション的なスニーカーなどが広がる気配もある。都市のライフスタイルの変化を敏感にとらえているのは足元のファッションなのかもしれない。

(商い創造研究所代表 松本大地)